

大間々高校のSDGsみらい探究

EXPLORING THE FUTURE WITH SDGs

大間々高校は「持続可能な開発目標：SDGs」の学びを通して生徒が自ら学ぶ姿勢を養い、社会の変化に柔軟に対応できる人材育成を目指しています。世界に目を向け、さまざまな社会課題を自分ごととして捉え、社会貢献できる生徒を育てます。

SDGsみらい探究とは

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴールと、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

大間々高校では、「総合的な探究の時間」を「SDGsみらい探究」と名付け、3年間を通してSDGsの視点を踏まえた課題解決学習を行います。現代社会は、多様性の時代であると言われています。大間々高校では、一人ひとりの「違い」を大切に、認め合い、誰もが活躍できる学校づくりを目指しています。

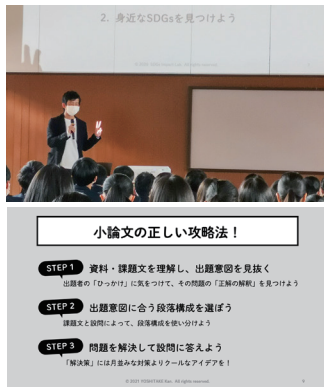


SDGsみらい探究で身につける力

大間々高校のSDGsみらい探究では、次の3つの力を身に付けることを目標としています。予測不可能なこれからの社会を生き抜くためには、自分の頭で考え行動できることが大切です。そして、地域、社会のために貢献し、自分を有用だと感じることで、真の強さを身に付けられると考えています。

- 1 主体的に考える力
課題に気づき自分の頭で考える
- 2 貢献する力（利他）
解決に向けて行動できる
- 3 困難から回復する力（レジリエンス）
自己有用感、真の強さを身に付ける

進路選択とSDGsみらい探究



SDGsみらい探究での活動を通し、卒業後の進路選択にもつながっています。3年間を通してSDGsの視点を身につけ、様々な活動を行った生徒の実績を最大限活かすべく、SDGsレクチャーの講師を務め、学生新聞記者やライターとして8年以上の実践経験を持つ講師による小論文講座・面接指導を実施。生徒たちが探究活動を通して学んだことや成長したことを引き出し、次の進路選択へとつなげています。



関口 結香 せきぐち・ゆか

群馬県立女子大学文学部1年
(2021年度卒業生)

桐生市立相生中学校出身。「みらい塾」を立ち上げから率い、生徒会長として学校行事も運営。映像『思い込みからの自由へ』では主演・脚本を務める。

今井 綺星 いまい・きらら

実践女子大学生活科学部1年
(2021年度卒業生)

桐生市立相生中学校出身。「みらい塾」を立ち上げから率い、ジェンダー問題などを探究。群馬イノベーションアワード2021ファイナリスト。



SDGs 井上浦造 みらい塾



SDGs井上浦造みらい塾は、SDGsみらい探究のリーダーを養成するゼミで、希望者は誰でも入ることができます。「探究人」としてSDGsを深掘りする生徒を募り、一人ひとりが当事者として活動しています。環境やジェンダーなど、SDGsを核とした様々なテーマの深掘りをするを目標として掲げ、制服自由選択制に関連した探究活動や、大学生と協働したカレンダー作成と地域への発信など、様々な活動を主体的に行っています。

みらい塾での取り組み例



ジェンダーフリー制服をアピール 立命館大学×大間々高生 映像制作プロジェクト

みらい塾の生徒たちが、大間々高校のジェンダーフリーな制服をアピールすることで多様な社会の実現を訴えるべく企画しました。立命館大学映像学部の学生クリエイターを擁するベンチャーCOMARS社のクリエイターらにアドバイスを受けながら生徒たちが脚本を制作し、映像にも出演。映像制作は経験豊富な大学生クリエイターが行いました。



上野千鶴子氏とのオンライン対談

2021年5月には、東京大学の上野千鶴子名誉教授のオンライン講演会を実施しました。みらい塾の生徒が上野先生とディスカッションする様子を配信する形式で行い、生徒たちが特に探究するジェンダー問題や、これから若い世代はどう生きていくべきかなどをテーマに対談しました。ディスカッションでは、ファシリテーターを生徒が務め、みらい塾のメンバーが90分間の対談を行いました。



大間々高校フィールドワーク2021 ～マナビを止めない新しいカタチの文化祭～

コロナ禍の中で、学校内にとどまらず、街を歩き、わたらせ渓谷鐵道に乗り、地域活性化の糸口を見つけ出す、マナビを止めない新しいカタチの文化祭を実施しました。地域を知り、人々とふれあい、地域に貢献するフィールドワーク型の文化祭をマイプロジェクトとして企画し、学校と地域のパートナーシップで達成する新しい形の文化祭を実現しています。



「わてツーリズム～地域と繋がる持続可能な旅行サブスクモデル～」 群馬イノベーションアワード2021ファイナリスト選出

人口減少に加え、コロナ禍で地域の観光業が厳しい状況であることから、地域創生の願いを込めたビジネスアイデアとして、みどり市の四季折々の自然と情緒ある街並みを小旅行気分で楽しんでもらうサブスクリプションサービスを考案。群馬イノベーションアワード2021にて、548件のエントリーの中から6組のビジネスプラン部門高校生の部のファイナリストに選出されました。